

組 織 名	教職センター
責 任 者	只友 景士

基準 10	大学運営・財務 (1) 大学運営
-------	------------------

■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
1017①	今後の教職課程科目担当者会議の開催について方法・内容について検討を行う。

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載。該当がない場合は「なし」と記載。 ここ数年、『「教職に関する科目」担当者説明会』を開催していない。改善計画の記載のとおり、今後の教職課程科目担当者会議の開催について、速やかに方法・内容を検討する必要がある。【留意点】 SD活動を組織的かつ継続的に実施するため、SD活動に関する実施方針や実施計画を定めることが望まれる。 【留意点】
--

<【参考】認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目	点検項目	自己評価
	<大学基準協会の「点検・評価項目」に相当>	<大学基準協会の「評価の視点」に相当>	現状
1017	教職課程の運営を適切かつ効果的に行うため、事務職員及び教員の意欲及び資質の向上を図るための方策を講じているか。	①教科専門の授業科目を担当する教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員・事務職員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのSDが確実に実施されているか。	A
1018	教職課程運営に必要な事務組織を設けているか。また、その事務組織は適切に機能しているか。	①教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか。	A

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために従来と異なる対応・対策を行った場合は、その取り組みがどのように点検項目を満たすのかについても併せて説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。	
<p>1017① 教職課程担当教員および教職センター職員は、文部科学省による教職課程にかかる各種説明会に適宜参加して法令改正等の最新情報を詳細に把握してセンター内でも共有し、適切な措置を講じるようにしている [1017a] [1017b]。また、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会（京私教協）や全国私立大学教職課程協会（全私教協）など、本学加盟の関連団体が主催する各種勉強会・研究大会等にも必要に応じて教員・事務職員が SD 活動の一環として参加し、情報収集に努めて研鑽を図り、教職課程を担う教員・事務職員として望ましい資質能力を身に付けるようにしている [1017c] [1017d] [1017e]。</p> <p>『「教職に関する科目」担当者会議』については、コロナ禍のため開催を見送っていたが、2022 年度においては、教職課程の運営方針に定める「教員免許取得に関わる科目担当者と本学教職課程担当者との連携に務めることで、教職課程に関する共通理解をはかり、本学教職課程のさらなる充実を図る」に基づき、2023 年 4 月に開催した[1017f]。</p>	
<p>1018① 教職センターは、本学の深草・大宮・瀬田各キャンパスに設置されている [1018a]。各キャンパスの教職センターには、教職課程担当教員、教職進路指導員、事務職員が配置されており、常に情報共有を行い、教職課程の適切な運営を図るとともに、学生の指導に努めている [1018b] [1018c]。</p>	
長所・特色《箇条書き》*先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1017①	2022 年度においては、教職課程の運営方針に定める「教員免許取得に関わる科目担当者と本学教職課程担当者との連携に務めることで、教職課程に関する共通理解をはかり、本学教職課程のさらなる充実を図る」に基づき、2023 年 4 月に『「教職に関する科目」担当者会議』を開催した。
1017①	本学加盟の関連団体が主催する各種勉強会・研究大会等の情報を教職課程に携わる教員および職員に情報提供し、SD 活動の一環として参加を促した。2023 年度においては、2024 年度の SD 活動について教育課程の運営方針に定めることを検討する。

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
1017	α	文部科学省より「令和 4 年度教職課程認定等に関する事務担当者説明会について」メール文

1017	b	文部科学省「令和4年度教職課程認定申請に関する事務担当者説明会」次第
1017	c	京私教協 2022 年度第 1 回教員免許事務勉強会開催要項
1017	d	【情報共有】緊急シンポジウム「教員採用選考試験の早期化・選考の複線化（複数回実施を含む）と教職課程」開催ご案内
1017	e	【情報共有】京都私学中高カウンスリング研究会「生徒理解のための連続講座」のご案内
1017	f	2023 年度科目担当者会議レジュメ
1018	a	教職センターウェブサイト「教職センター組織」【ウェブ】
1018	b	教職センター規程
1018	c	教職進路指導員任用規程

II. 評価結果

総評
<p>1017 教員・事務職員ともに、SD活動の一環として各種勉強会・研究大会（文部科学省による教職課程にかかる各種説明会、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会（京私教協）や全国私立大学教職課程協会（全私教協）など）に参加し、教職課程を担う者として望まれる資質能力を身に付けるよう努めていると評価できる。</p> <p>また、ここ数年『「教職に関する科目」担当者会議』を開催していなかったが、2022 年度においては、教職課程の運営方針に定める「教員免許取得に関わる科目担当者と本学教職課程担当者との連携に務めることで、教職課程に関する共通理解をはかり、本学教職課程のさらなる充実を図る」に基づき、2023 年 4 月に開催したことは評価できる。但し 2022 年度中に開催できていることがより望まれる。</p> <p>以上より、教職課程の運営を適切かつ効果的に行うため、事務職員及び教員の意欲及び資質の向上を図るための取り組みに努めていると評価できる。</p> <p>1018 教職センターの事務組織は各キャンパスに設置している。各教職センターには、教職課程担当教員、教職進路指導員及び事務職員を配置し、それぞれの教職課程を運営するとともに、学生の指導に努めている。</p> <p>以上より、教職課程運営に必要な事務組織を設置し、適切に機能していると評価できる。</p>
長所・特色《箇条書き》
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載